

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

当院における心不全患者に対するガイドラインに基づく標準薬物治療の評価

●研究の対象

2024年1月1日から2025年6月30日に京都第二赤十字病循環器内科において、心不全の加療目的で入院した患者さんを対象とします。

●研究の目的

心不全治療において、診療ガイドラインに記載のある標準的な治療を達成し、治療の最適化を行うことは、心不全患者さんの予後改善と再入院率の低下に深い関連があるとされています。近年、治療の最適化が行われているか否かの簡便な指標として、Simple GDMT スコアという評価項目が考案され、Simple GDMT スコアが5点以上であれば予後の改善が期待されると報告されています。

このように GDMT の重要性は示されている一方で、当院でどの程度 GDMT が導入されているか、その実態は十分に把握されていません。そこで、この研究では、当院に入院された心不全患者さんについて、入院前後の Simple GDMT スコアの変化や、GDMT の導入状況を調査することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2026年2月28日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報：性別、年齢、体重、心不全重症度分類、左室駆出率、血圧、心拍数、血液検査結果、合併症、薬剤処方歴、有害事象など

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報はありません。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 薬剤部 辰己 日向子

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：薬剤部 辰己 日向子

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）